

平成 24 年度第 7 回（10 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 10 月 11 日（木）午後 19 時 00 分～20 時 10 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、宮野、酒井、栗本、清水、山西、杉山、
山田、後藤、栗本監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 竹浦、増田、久保田、山中幹事
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（9 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技&近臨技 9 月 22 日（月） 第 5 回日臨技理事会を開催した。
 - ・ 国際臨床検査技師会（IFBLS）2013～2014 年会長に当会・小松理事が就任。2016 年 IFBLS 学会を日本で開催する。
 - ・ 日臨技 16 年間の公益目的財産額（1,082,096,955 円）が確定した。
 - ・ 臨床検査振興会の入会およびチーム医療推進協議会に参画する。
 - ・ 関連団体委員会医院推薦依頼を受け対応することとした。
 - ・ 日臨技キャッチフレーズ「臨床検査は健康へのナビゲーター」、「私達は良質な検査を 365 日、24 時間提供しています。」
 - ・ 臨床検査技師連盟の常任委員に下田氏、津田氏、斎藤氏、直井氏、運天氏、佐藤氏の各理事 6 名を推薦することとした。
 - ・ 平成 26 年度日本医学検査学会の担当技師会として佐賀県臨床検査技師会が承認された。
 - ・ IFBLS 学会立候補地は、12 月 21 日の委員会、22 日の理事会で決定する。
 - ・ 来年度支部学会の参加費は非会員はプラス 1 万円（現行）の規程に準ずることとする。
 - ・ 米坂氏の参議院立候補については、日臨技技師連盟で対応する。
2. 事務局
 - 〈総務部〉9 月 19 日（水）に部会を開催した。
 - ・ Web 版大臨技会報の最終校正を行った。
 - ・ 日臨技連盟の広報について検討した。
 - ・ 大臨技研修会における参加者受付について検討した。
 - ・ 研修会等における参加者名簿の取り扱いについて検討した。
 - ・ 大臨技ニュース 9 月号を発行した。
 - ・ 大臨技ホームページを更新した。
 - 〈会計部〉9 月 19 日（水）に部会を開催した。
 - ・ 8 月度収支決算書を作成した。
 - ・ 9 月分事務員給料を送金した。
 - ・ 事務所管理費を送金した。
 - 〈渉外部〉9 月 18 日（火）に部会を開催した。
 - ・ 第 38 回献血推進活動（8 月 25 日開催）の報告を行った。
 - ・ がん検診推進フォーラム（日臨技公益委託事業）について進捗状況の説明を行った。

- ・府民健康フォーラム（10月28日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・学術部免疫血清部門府民公開講座の広報について説明を行った。

4. 事業局

〈情報組織部〉9月20日（木）に部会を開催した。

- ・多職種合同チーム医療研修会の反省を行った。
- ・技師長会（平成25年2月23日（土）開催予定）について内容の検討をした。
（開催後報告）
- ・多職種合同チーム医療研修会を開催した。（9/15 大阪府医師協同組合会館8階大ホール）
参加者49名（内訳：大臨技29名、他職種11名、賛助会員4名、その他5名）
- ・糖尿病療養指導部会第31回定例勉強会を開催した。（9/12 大阪鉄道病院3階講堂）
参加者37名（講師2名含む）

〈地区事業部〉9月20日（木）に部会を開催した。

- ・会員交流会に関して、役割分担、イベント内容等の最終打合せを行った。

開催日時・場所：平成24年10月6日（土）13：30～16：00 ごろまで・堺とれとれ市

〈学術部〉9月11日（火）に部会を開催した。

- ・第8回学術部講演会の各講演者による要旨の発表があり、その内容について検討した。

Ⅲ. 他、報告

1. 日臨技連盟のHPリンクについて（吉本副会長）

- ・大臨技ホームページのトップページのコンテンツ・メニューに「日本臨床検査技師連盟」のリンクボタンを作り、下記の内容を見られるようにした。

- ①大臨技からの報告とお願い
- ②連盟加入者名簿の掲載に伴う掲載諾否について
- ③連盟加入者名簿（大阪府）に掲載する項目について検討した。
受付Noと会員名のみを掲載することとした。

2. チーム医療に係わる業務認証拡大について（運天会長）

- ・下記の3点について臨床検査技師にも法的に認めてもらえるように、日臨技に要望として挙げた。
 - ①口腔内吸引を出来るように認めて欲しい。（緊急時での対応が必要である）
 - ②点滴ルートの調整及び検査に伴う薬液の注入が出来るように認めて欲しい。
 - ③直腸肛門内圧検査を出来るように認めて欲しい。

3. 研修会等における参加者名簿の取り扱いについて（吉本副会長）

- ・共催事業の場合、企業に研修会での参加者名簿を渡す時は「研修会等における参加者名簿の取り扱いに関する誓約書」に記載し提出してもらうこととする。

4. 日臨技レッドリボン・ピンクリボンクリアファイルについて（吉本副会長）

- ・日臨技より啓発活動用の配布物として下記の内容のクリアファイルが送られてきた。

*エイズ・HIV 予防啓発活動用クリアファイル…400枚

*乳がん予防啓発活動用クリアファイル…400枚

各研修会等で参加者に配布するようにとの要請があった。

大臨技事務所でファイルの在庫管理を行うので、配布する場合は事務所へ連絡をする。

5. 日臨技理事会報告（運天会長）

- ・2016年（平成28年）に国際学会（IFBLS）が日本で開催される。
小松理事が就任された。

- ・開催場所を国際空港から約1時間位の場所で開催して欲しいとの要望があり、12月22日（土）の日臨技の理事会で開催地を決定する予定である。
兵庫県臨床検査技師会が開催したいと立候補している。
- ・日臨技は臨床検査振興会に入会およびチーム医療推進協議会に参画する。
- ・日臨技16年間の公益目的財産額（1,082,096,955円）が確定したので、16年間で支出していく。
- ・平成26年度日本医学検査学会は佐賀県に決定した。
- ・関西支部学会について（清水理事）
移行期であると言う事で、参加費を会員非会員関わらず5,000円にしていたが、来年からは非会員については15,000円になる。

6. その他

- ・関西支部学会について（運天会長）
第52回は平成24年9月に和歌山で開催された。
第53回は平成25年10月19日（土）～20日（日）に福井県で開催される。
第54回は平成26年に兵庫県で、第55回は平成27年に大阪府で開催する。
- ・日本医学検査学会について（運天会長）
第61回は平成24年6月9日（土）～10日（日）に三重県で開催された。
第62回は平成25年5月18日（土）～19日（日）に香川県で、平成26年度は佐賀県で開催される。
- ・大阪滋慶学園が滋慶医療科学大学院大学を設立した。（運天会長）
採血に関するアンケートの協力要請があったので返答した。
平成24年12月1日（土）にセミナーがあり、当会の山西理事が講師を務められる。
- ・日臨技公益委託事業（清水理事）
 - ①HIV（エイズ）予防啓発事業
平成25年1月26日（土）近畿医療技術専門学校の学生を中心に開催する予定である。
 - ②がん検診フォーラムのポスターを、大臨技事務所近くの掲示板に貼らせていただいた。
- ・平成24年度大臨技会報 web 版の校正が終了し大臨技ホームページに掲載した。（吉本副会長）

IV. 議 題

1. 大臨技外部精度管理について（運天会長）
大阪府医師会の精度管理の参加者が減少しているのので、大臨技ニュース等で広報をお願いしたいとの広報依頼が来ている。
今までは大阪府医師会に委ねていたが、大臨技として今後どう関わっていけば良いかを話し合った。
当面は参加を奨励する広報面での協力を継続する事とする。
2. その他（運天会長）
第62回日本医学検査学会（香川県で開催）の一般演題の座長候補推薦を11月6日（火）までに9名を選出するようにと要請が来ている。学術部長の高田理事に一任するという事で理事会承認とした。

以上

理事会議事録確認（署名）
